

科目名	<b>経済学と現代経済</b>	科目分類	■専門科目群 □総合科目群	
			経済学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	<b>Economics and Modern Economy</b>	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
ふりがな	さかもと こういち ほか けいざいがくぶきょういん	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	坂元 浩一 他 経済学部教員	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	<p>本科目のテーマは、複雑で多様化する現代経済の諸現象を、これまでに授業で学んできた経済学の基本的で本質的な考え方や見方に沿って、理解し、説明できるようにすることである。</p> <p>私達の生産活動と消費行動は、激変する情報化や国際化、自然環境の中で営まれており、もはや「経済原論」という狭い意味での経済学では、現実社会の中で巻き起こる諸問題に向き合うことは難しくなっている。そうした変化に対応すべく、本学経済学部のカリキュラムも絶えず再考されており、伝統的な経済学の諸分野に加え、情報、国際、環境などの新たな分野が拡充されてきた。本科目を通じて、ノースアジア大学経済学部の目指す「現実への応用可能性の高い経済学」を再認識し、経済学士として相応しい、経済学力を備えて欲しい。</p>			
到達目標	広範に及ぶ経済学諸分野の基本的で、本質的な考え方や見方に沿って、現実の問題を理解し、説明できるようになること。			
授業概要	本科目では、「経済学の現実への応用可能性の高さ」を意識することから、経済学諸分野の基本的で、本質的な見方を確認し、それを基に、現実社会の中で起きている問題について考えることとする。			
授業計画				
第1回	テーマ： ノースアジア大学の経済学教育（坂元）			
第2回	テーマ： 経済と市場（深澤）			
第3回	テーマ： 比較生産費説と国際金融（深澤）			
第4回	テーマ： 日本の国家財政は破綻するか？（深澤）			
第5回	テーマ： 国際経済と貿易・投資 ―保護主義と自由主義の対立―（坂元）			
第6回	テーマ： 高度成長と暮らしの世相（鎌田）			
第7回	テーマ： 高度成長期以後の日本経済（國井）			
第8回	テーマ： 国民生活と社会保障（藤本）			
第9回	テーマ： 経済と倫理 ―ビジネスに要請される倫理観―（西巻）			
第10回	テーマ： 経済主体の人間関係の基盤 ―生き方の自己決定―（西巻）			
第11回	テーマ： 環境と経済の両立：環境評価の方法と生態系サービス（村中）			
第12回	テーマ： 文系学部における科学リテラシー：科学を学ぶのはなぜ必要か（村中）			
第13回	テーマ： 高度情報化が変える学校（市原）			
第14回	テーマ： 経済発展における教育の役割（市原）			
第15回	テーマ： コロナと文化（花田）			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	新聞記事を、授業で学んだことと関連付けて読み、社会の中での経済学的な考え方や見方に親しんでおくこと。			
履修条件 受講のルール	なし			
テキスト	分野が広範に及ぶため、必要に応じてレジュメを配布する。			
参考文献・資料	各回の授業にて、適宜、説明を加える。			
成績評価の方法	試験の結果を基に評価する。			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。</li> <li>・出席確認時に不在だった場合は、原則としてその回は欠席とします。</li> <li>・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。</li> <li>・授業の理解および予習・復習が充分であるかを確認するため、授業中にミニ・テストを行うことがあります。</li> </ul>
オフィスアワー	オムニバス形式なので、各担当教員に個別に確認して欲しい。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	ノースアジア大学で学んだ経済学を使いこなし、頼りがいのある自分に成長して下さい。最後に、頼れるのは自分自身です。